

原発災害 「復興」の影

■取り除く④

男性(47)は現在、郡山市で当1万円を寮、食事付きの除染の仕事をしているが、1月に現場に入ってきた作業員から「ここに来る前の葛尾村の現場の作業員は日給1万円で働いていた」と打ち明けられた。同村の除染なら危険手当だけで1万

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだと思っていた」

同労組によると、環境省などの指導で昨年夏ごろから、危険手当は適正に支払われる職場が増えたが、日

請けで、すでに危険手当の分も抜かれていた」
満額もらえぬ労働者
同労組によると、環境省などの指導で昨年夏ごろから、危険手当は適正に支払われるよう、繰り返し指

除染業者 中抜き横行

一部で危険手当不払い

「いまだに賃金不払いや雇用契約書を交わさない現場がある」。ふくしま連帯労働組合書記長の佐藤隆(60)は除染作業が始まった2012(平成24)年夏ごろから、除染作業員の相談を受け、多くの除染業者と交渉を重ねて待遇改善を図ってきた。

日給の総額は1万円

同労組に昨夏、特殊勤務手当(危険手当)の一部不払いの相談をした北海道の

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだと思っていた」

男性は同手当の存在を知り、現場責任者に聞くと「2次下請けの会社から1人当たり1万1千円しかもらって

給は総額1万6千円程度。危険手当と最低賃金分の給料を足すとおおよそこの金額になるが、「宿泊費や食費という名目で差し引く業者もいて、満額もらえない労働者も多い」という。

国直轄除染を行う大手ゼネコンの鹿島建設、大成建設、大林組は福島民友新聞社の取材に対し「各事業主に確認し、賃金が適正に支払われるよう、繰り返し指

「除染の仕事があり過ぎて、まともな地元業者以外も入り込めるから不正な中抜きも起きる」と遠藤は推測する。(文中敬称略)

氏名	日給	危険手当	合計
佐藤 隆	11,000	1,000	12,000
田中 健	9,250	7,200	16,450
山田 一郎	10,300	5,000	15,300
鈴木 次郎	11,000	1,000	12,000
高橋 三郎	9,250	7,200	16,450
伊藤 四郎	10,300	5,000	15,300
渡辺 五郎	11,000	1,000	12,000
山本 六郎	9,250	7,200	16,450
佐々木 七郎	10,300	5,000	15,300
松本 八郎	11,000	1,000	12,000
石川 九郎	9,250	7,200	16,450
木村 十郎	10,300	5,000	15,300
高木 十一郎	11,000	1,000	12,000
橋本 十二郎	9,250	7,200	16,450
坂本 十三郎	10,300	5,000	15,300
佐藤 十四郎	11,000	1,000	12,000
藤田 十五郎	9,250	7,200	16,450
伊藤 十六郎	10,300	5,000	15,300
山本 十七郎	11,000	1,000	12,000
高橋 十八郎	9,250	7,200	16,450
伊藤 十九郎	10,300	5,000	15,300
山本 二十郎	11,000	1,000	12,000

月18日間ほど除染で働いた作業員の給与明細。特殊勤務手当(危険手当)に比べ基本給が低く抑えられているのが見て取れる